



Press Release

AIG
175 Water Street
New York, NY 10038
www.aig.com

本稿は2020年5月4日、AIG米国本社が発表した英文プレスリリース（原文）の参考訳です。

本稿と原文との間で解釈に相違が生じた際には、原文が優先します。原文の発信日付で、AIGジャパンのホームページに掲載しています。

AIG、2020年第1四半期の決算を公表

- 2020年第1四半期は17億ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは1.98ドルのAIG普通株主に帰属する純利益を計上。主因は35億ドルの税引前正味実現キャピタル・ゲイン。これに対して、前年同期は6億5,400万ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは0.75ドルのAIG普通株主に帰属する純利益。主因は4億4,600万ドルの税引前正味実現キャピタル・ロス。
- 2020年第1四半期は9,900万ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは0.11ドルのAIG普通株主に帰属する調整後税引後利益*を計上。これに対して、前年同期は14億ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは1.58ドルのAIG普通株主に帰属する調整後税引後利益。
- 損害保険事業部門ではコンバインド・レシオ101.5、前年同期は97.4。保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオ*は95.5、規律あるアンダーライティングおよび費用面の持続的な規律によるポートフォリオ構成改善を反映して、前年同期の96.1から改善。
- 損害保険事業部門の2020年第1四半期の税引前大規模自然災害損失（CAT）（再保険調整後）は4億1,900万ドル。これにはトラベル、コンティンジェンシー、企業向け財物保険、トレード・クレジット、労災補償およびヴァリダス・リーに関するCOVID-19（新型コロナウイルス）関連損失見積2億7,200万ドルを含む。CATの残余は主として天候関連。
- 生命保険および退職給付事業部門は5億7,400万ドルの調整後税引前利益を計上。進行中のCOVID-19危機に端を発した株式市場の下落とクレジット市場のスプレッド拡大が主因。
- 2020年第1四半期の連結正味投資利益合計は25億ドル。これに対して、前年同期は39億ドル。調整後税引前利益ベースの正味投資利益は約10億ドル減の27億ドル。オルタナティブ投資のリターンの低下および公正価値オプション（FVO）証券の損失を反映。
- 2020年3月31日時点の普通株式1株当たりブック・バリューは69.30ドルで、2019年12月31日時点から8%低下。その他の包括利益累計額（AOCI）および繰り延べ税金資産（DTA）を除く普通株式1株当たりブック・バリュー（調整後普通株式1株当たりブック・バリュー）*は60.55ドルで、2019年12月31日時点から3%上昇。
- 2020年3月31日までの3ヶ月間の普通株主資本利益率（ROCE）とAOCIおよびDTAを除く普通株主資本利益率（調整後ROCE）*はそれぞれ11.2%、0.8%。

* 一般に公正妥当と認められた会計原則に従って計算されていない（非GAAP）財務指標を指しています。非GAAP財務指標の定義および最も近いGAAP指標への調整については、本ニュースリリースの「レギュレーションおよび非GAAP財務指標に関する注釈」の見出しの項をご覧ください。

2020年5月4日（ニューヨーク発）：アメリカン・インターナショナル・グループ・インク（ニューヨーク証券取引所銘柄：AIG）は本日、2020年第1四半期のAIG普通株主に帰属する純利益が17億ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは1.98ドルになったことを公表しました。これに対して、前年同期はAIG普通株主に帰属する純利益は6億5,400万ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは0.75ドルでした。この改善の主因は、変額年金保険および金利ヘッジによる時価評価益およびAIGの債務の公正価値に関するGAAPによる非経済的不履行リスク調整の影響に関連する税引前正味実現キャピタル・ゲイン35億ドルでした。前年同期には税引前正味実現キャピタル・ロス4億4,600万ドルを計上していました。

2020年第1四半期のAIG普通株主に帰属する調整後税引後利益は9,900万ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは0.11ドルでした。これに対して、前年同期はAIG普通株主に帰属する調整後税引後利益は14億ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは1.58ドルでした。調整後税引後利益の減少の主因は、株式市場下落による正味投資利益の減少およびクレジット市場のスプレッド拡大によるFVO債券の損失およびCOVID-19の影響でした。

AIG CEOのブライアン・デュパロウは次のように述べました。

「世界規模の大惨事であるCOVID-19に直面して、AIGの社員は顕著なレジリエンスを示し、引き続きAIGが最もその強みを示せるところに焦点を絞っています。すなわち、とりわけ困難な時期に、お客様のリスク管理を手助けすることです。」

「過去数ヶ月間、悲痛な思いでこの人道上の危機が広がるのを見てきました。同時に、特にファーストレスポnder（初期対応者）、医療従事者および第一線にいるその他の方々が示した勇気、思いやりおよび共感には心温まるものでした。AIGは全世界における救援活動の支援に全力で取り組むとともに、この目的のためにこのほど再開した「AIG基金」に第一歩として500万ドルを拠出します。」

「この危機の発生前、AIGは強固な財務体質を示しており、現在もそれは変わりません。COVID-19は業界にとって史上最大の大規模自然災害になりますが、AIGがこの変動的な状況を進んでいくうえで、2017年末以来当社のチームが実行してきた取組みの主要部分が大いに役立っています。この取組みによって、AIGは財務の面で極めて高い柔軟性を備えた世界で選ばれる保険会社となることができるでしょう。」

「2020年第1四半期に、AIGの主要事業部門は、新年度を迎えるに当たって保持していた勢いを基礎に、堅調な業績を実現しました。損害保険事業では、保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオが引き続き改善し、生命保険および退職給付事業は、資本市場の逆調および低金利持続にもかかわらず、堅調な業績を実現しました。」

「COVID-19は著しい不確実性をもたらしており、その広範な影響を理解するには時間を要するでしょう。この点を踏まえ、AIGは、調整後普通株主資本利益率に関連するものを含め、これまでに発出しているガイダンスを撤回します。しかしながら、AIGは損害保険事業部門においては特に調整済みコンバインド・レシオの改善が継続すると予想しており、また、生命保険および退職給付事業部門では、COVID-19の影響が長期的リターンのプロファイルの重大な縮小をもたらすとは考えていません。」

「COVID-19が私たち一人ひとりにもたらす新常態はまだわかっていませんが、私はAIGが有数の保険フランチャイズにしてトップクラスの業績を誇る企業になるために引き続き前進するものと確信しています。」



FOR IMMEDIATE RELEASE

2019年第1四半期の業績概要

3月31日までの3ヶ月間

(単位：百万米ドル、1株当たりの額を除く)

	2020	2019
AIG普通株主に帰属する純利益	\$ 1,742	\$ 654
AIG普通株主に帰属する希薄化後1株当たりの純利益	\$ 1.98	\$ 0.75
加重平均発行済み普通株式数 - 希薄化後	878.9	877.5
調整後税引前利益（損失）：		
損害保険事業部門	\$ 501	\$ 1,268
生命保険および退職給付事業部門	574	924
その他の事業	(535)	(457)
レガシー	(368)	112
合計	\$ 172	\$ 1,847
AIG普通株主に帰属する調整後税引後利益	\$ 99	\$ 1,388
AIG普通株主に帰属する希薄化後普通株式1株当たり調整後税引後利益	\$ 0.11	\$ 1.58
普通株主資本利益率	11.2	% 4.5 %
有形普通株主資本利益率*	12.2	% 4.9 %
調整後普通株主資本利益率	0.8	% 11.6 %
調整後有形普通株主資本利益率*	0.9	% 13.1 %
調整後帰属株主資本利益率- コア*	3.4	% 13.4 %
発行済み普通株式数	861.3	869.7
普通株式1株当たりブック・バリュー	\$ 69.30	\$ 69.33
普通株式1株当たり有形ブック・バリュー*	63.33	63.10
その他の包括利益累計額を除く普通株式1株当たりブック・バリュー*	70.45	66.89
調整後普通株式1株当たりブック・バリュー	60.55	55.47
調整後普通株式1株当たり有形ブック・バリュー*	54.58	49.24
損害保険事業部門コンバインド・レシオ	101.5	97.4
損害保険事業部門保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオ	95.5	96.1
AIG普通株主に帰属する調整後リターン - 生命保険および退職給付事業部門*	8.4	% 15.0 %

別段の記載がない限り、比較はすべて、2019年第1四半期に対するものです。詳細については、AIG ウェブサイトの投資家向けセクションに掲載されている2020年第1四半期追加財務情報をご参照ください。

2020年第1四半期の業績概要

損害保険事業部門 – 2020年第1四半期の調整後税引前利益5億100万ドルは保険引受損失8,700万ドルおよび正味投資利益5億8,800万ドルによるものです。保険引受損失にはCOVID-19関連損失見積2億7,200万ドルの影響が含まれており、この損失を除外すれば、損害保険事業部門は保険引受利益を計上していました。正味前年以前事故年度の当年度発生戻入金（再保険調整後）は6,000万ドルとなりましたが、その主因は「アドバース・ディベロプメント・カバー（ADC）」の償却5,300万ドルでした。再保険調整後のCATは4億1,900万ドルで、COVID-19関連の2億7,200万ドルを含んでいます。AIGは米国および全世界で次々と明らかになる動向を踏まえて継続的にエクスポージャーを再評価し、再保険契約に基づくカバレッジを評価しています。

損害保険事業部門のコンバインド・レシオは101.5でした。これにはCATの6.9ポイントが含まれ、そのうち4.5ポイントはCOVID-19損失に関連するものです。保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオは95.5となり、前年同期比1.0ポイント改善した保険事故年度の調整済み損害率60.8*および事業費率34.7から成っています。保険事故年度の調整済み損害率の改善は、事業構成および損失パフォーマンスを改善するために取られたアンダーライティングと再保険のアクションおよびレートの妥当性改善を反映したものです。また、損害保険事業部門の事業費（GOE）は8%減の7億7,600万ドルとなりました。

生命保険および退職給付事業部門 – 2020年第1四半期の調整後税引前利益は5億7,400万ドルとなりました。前年同期は9億2,400万ドルでした。前年同期比での減少は株式市場の好ましくない影響を反映したもので、この影響は主として変額年金保険積立金と加速繰延新契約費（DAC）の増加および販売促進（SI）償却に帰結しました。加えて、クレジット・スプレッドの拡大がFOV債券のリターン低下による正味投資利益の減少につながるとともに、退職給付事業部門では、低金利環境を背景にスプレッド縮小が持続しました。正味フローは前年同期に比べ純流出が拡大しました。主因は定額型年金保険の販売減とリテール向けミューチュアル・ファンドの解約増でしたが、変額年金保険の販売増および団体向け退職給付の解約減少により部分的に相殺されました。2020年第1四半期の生命保険および退職給付事業部門の調整後ROCEは8.4%となりました。

正味投資利益 – 2020年第1四半期の正味投資利益は25億ドルとなりました。前年同期は39億ドルでした。調整後税引前利益ベースの正味投資利益は約10億ドル減の27億ドルとなりました。この減少は、前年同期比でのオルタナティブ投資利益の減少および前年同期のその他投資利益から2020年第1四半期はFVO債券を主因にその他投資損失に転じたことを反映したものです。

AIGは、損害保険事業部門、生命保険および退職給付事業部門およびレガシー部門の個別ポートフォリオに関する情報を含めた投資ポートフォリオのより詳細な内容を提供するため、追加財務情報における開示を大幅に拡充しました。グローバルな複合種目を取り扱う保険会社であるAIGの連結ポートフォリオは、他の損害保険会社や生命保険会社のポートフォリオと簡単に比較することができません。拡充された詳細は同種企業による個別ポートフォリオの追加的分析を可能にするものと思料しています。

その他の事業 – 2020年第1四半期の調整後税引前損失は5億3,500万ドルで、連結、消去およびその他修正による損失8,400万ドルを含んでいます。前年同期の調整後税引前損失は4億5,700万ドルでした。連結、消去およびその他修正を除くと、調整後税引前損失の増加の主因はGOEの6,600万ドルの増加です。これにはCOVID-19による予期せざる費用を支援するための従業員1人当たり500ドルの助成が含まれており、その総額は3,000万ドルになります。加えて、

調整後税引前損失はテクノロジー費用の増加が含まれていますが、これは連結投資エンティティに関連する正味投資利益の増加により部分的に相殺されました。AIGは3月末に、AIGのテクノロジー主導の子会社であるブラックボード U.S.ホールディングス・インク（ブラックボード）をランオフすることを決定しました。この決定の結果、AIGは主として資産減損費用から成る税引前損失2億1,000万ドルを認識しましたが、この費用は調整後税引前利益には影響を及ぼしませんでした。

レガシーの業績 - 2020年第1四半期の調整後税引前損失は3億6,800万ドルとなりました。前年同期は1億1,200万ドルの調整後税引前利益でした。調整後税引前損失はFVO投資ポートフォリオの主に時価評価の損失を反映したもので、前年同期は利益を計上しています。また、レガシーの生命保険および退職給付事業部門のオルタナティブ投資による正味投資利益の減少も反映しています。

レガシーの業績にはフォーティチュード・リインシュアランス・カンパニー・エルティーディー（フォーティチュード・リー）が含まれています。AIGは2019年11月に、フォーティチュード・リーの持株会社であるフォーティチュード・グループ・ホールディングス・エルエルシーの財務支配権の売却に合意しました。規制当局の承認およびその他の慣習的な成立要件を条件に、売却は2020年半ばに完了する予定です。

普通株式1株当たりブック・バリュー - 2020年3月31日時点の普通株式1株当たりブック・バリューは69.30ドルでした。2019年12月31日時点では74.93ドルでした。普通株式1株当たりブック・バリュー減少の主因は、2020年3月31日時点のクレジット・スプレッド拡大の影響による売却可能固定満期証券の正味未実現評価損です。AOCIおよびDTAを除いた調整後普通株式1株当たりブック・バリューは、前年通期末比小幅増の60.55ドルとなりました。2020年第1四半期のAIG普通株主に帰属する純利益17億ドルがその要因です。

有形普通株式1株当たりブック・バリューは63.33ドルでした。2019年12月31日時点では68.93ドルでした。のれん、買収事業の価値（VOBA）、買収流通経路の価値（VODA）およびその他無形資産を除く普通株式1株当たりブック・バリューである調整後有形普通株式1株当たりブック・バリューは54.58ドルとなりました。2019年12月31日時点では52.88ドルでした。

流動性および資本 - 2020年3月31日時点のAIGの親会社流動資産は約75億ドルでした。3月にAIGは総額45億ドルのコミットメント・リボルビング・シンジケート・クレジット・ファシリティーに基づき13億ドルを借り入れ、現在もその借入残高を維持しています。同じく3月に、AIGは利率4.35%、2045年満期の任意償還権付ノートの元本総額3億5,000万ドルを償還しました。

AIGは2020年第1四半期中の2月に締結した加速型自社株買い契約に基づき、AIG普通株式約1,200万株を購入価格総額5億ドルで買い戻しました。2020年3月31日時点で、AIGの自社株買い承認額の残額は15億ドルとなっています。

所得税 - 税引前利益に対する2020年第1四半期の実効税率は、評価引当金2億7,400万ドルの結果として35.3%となりました。調整後税引前利益に対する実効税率は48.8%で、法定税率の21%とは異なります。この相異の主因は損益計算書に計上される株式ベースの報酬支払いに関連する超過課税額、海外事業の影響に関連する課税額、州・地方所得税および控除不能移転価格課税ですが、これらは非課税利益に関連する優遇税制措置により部分的に相殺されました。海外事業の影響は主として21%を上回る法定税率で課税される海外事業利益、その他の外国の課税および米国の課税対象となる海外利益と関連しています。



損害保険事業部門

(単位：百万米ドル)	3月31日までの3ヶ月間		
	2020	2019	増減
損害保険事業部門合計			
総収入保険料	\$ 10,086	\$ 10,195	(1) %
正味収入保険料	\$ 5,921	\$ 6,033	(2)
保険引受利益（損失）	\$ (87)	\$ 179	NM
調整後税引前利益	\$ 501	\$ 1,268	(60)
引受に関する比率：			
損害率	66.8	63.1	3.7 pts
控除：損害率に対する影響：			
大規模自然災害による損失および復活保険料	(6.9)	(2.7)	(4.2)
前年以前事故発生年度の当年度発生保険金	0.9	1.0	(0.1)
再保険契約およびその他の出再保険料の調整	-	0.4	(0.4)
保険事故年度の調整済み損害率	60.8	61.8	(1.0)
事業費率	34.7	34.3	0.4
コンバインド・レシオ	101.5	97.4	4.1
保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオ	95.5	96.1	(0.6)



	3月31日までの3ヶ月間		
	2020	2019	増減
(単位：百万米ドル)			
北米			
正味収入保険料	\$ 2,770	\$ 2,578	7 %
コマーシャル・ライン	2,225	1,998	11
個人向け損害保険	545	580	(6)
保険引受利益（損失）	\$ (86)	\$ (11)	NM
コマーシャル・ライン	(1)	54	NM
個人向け損害保険	(85)	(65)	(31)
調整後税引前利益	\$ 409	\$ 934	(56)

引受に関する比率：

北米

損害率 72.2 69.4 2.8 pts

控除：損害率に対する影響：

大規模自然災害による損失および復活保険料	(7.0)	(5.1)	(1.9)
前年以前事故発生年度の当年度発生保険金	0.2	1.8	(1.6)
再保険契約およびその他の出再保険料の調整	-	1.0	(1.0)
保険事故年度の調整済み損害率	65.4	67.1	(1.7)
事業費率	30.8	30.9	(0.1)
コンバインド・レシオ	103.0	100.3	2.7
保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオ	96.2	98.0	(1.8)

北米コマーシャル・ライン

損害率 72.7 70.7 2.0 pts

控除：損害率に対する影響：

大規模自然災害による損失および復活保険料	(6.7)	(5.1)	(1.6)
前年以前事故発生年度の当年度発生保険金	2.2	2.8	(0.6)
再保険契約およびその他の出再保険料の調整	-	1.0	(1.0)
保険事故年度の調整済み損害率	68.2	69.4	(1.2)
事業費率	27.3	27.0	0.3
コンバインド・レシオ	100.0	97.7	2.3
保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオ	95.5	96.4	(0.9)

(単位：百万米ドル)	3月31日までの3ヶ月間		
	2020	2019	増減
北米個人向け損害保険			
損害率	70.8	65.4	5.4 pts
控除:損害率に対する影響:			
大規模自然災害による損失および復活保険料	(7.9)	(5.0)	(2.9)
前年以前事故発生年度の当年度発生保険金	(5.1)	(1.2)	(3.9)
再保険契約およびその他の出再保険料の調整	-	0.9	(0.9)
保険事故年度の調整済み損害率	57.8	60.1	(2.3)
事業費率	40.2	42.9	(2.7)
コンバインド・レシオ	111.0	108.3	2.7
保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオ	98.0	103.0	(5.0)

損害保険事業部門 北米 – コメント

- 正味収入保険料は7%増の28億ドルとなりました。受再保険事業およびリテール向け、ホールセール向け財物保険の伸び並びにコマーシャル・ラインの保険料率引上げが主因でしたが、2019年を通して講じたアンダーライティング・アクションによって部分的に相殺されました。
- 税引前引受損失は8,600万ドルとなりました。これには再保険調整後のCAT2億500万ドルが含まれており、このうち1億2,300万ドルはCOVID-19に関連したものでした。正味前年以前事故年度の当年度発生戻入金は1,300万ドルでした。北米コマーシャル・ラインの正味前年以前事故年度の当年度発生戻入金が5,300万ドルとなりましたが、北米個人向け損害保険の前年以前事故年度の当年度発生保険金発生額4,000万ドルにより部分的に相殺されました。北米コマーシャル・ラインの正味前年以前事故年度の当年度発生戻入金にはADCの償却5,300万ドルが含まれています。前年同期は5,800万ドルでした。
- 北米 コンバインド・レシオは103.0となり、CATおよび復活保険料の7.0ポイント（うち4.2ポイントはCOVID-19関連）および正味前年以前事故年度の当年度発生戻入金0.2ポイントが含まれています。保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオは96.2となり、保険事故年度の調整済み損害率65.4および事業比率30.8が含まれています。保険事故年度の調整済み損害率の1.7ポイント改善は、事業構成の変更、保険料率の大幅な引上げおよび2019年に講じたアンダーライティング・アクションの恩恵が主因でした。
- 事業比率は小幅改善となりました。実施中の費用面の持続的な規律による事業費の減少が正味経既過保険料の低下を上回ったことが改善の要因でした。



損害保険事業部門 – 北米外

(単位：百万米ドル)	3月31日までの3ヶ月間		
	2020	2019	増減
北米外			
正味収入保険料	\$ 3,151	\$ 3,455	(9) %
コマーシャル・ライン	1,577	1,780	(11)
個人向け損害保険	1,574	1,675	(6)
保険引受利益（損失）	\$ (1)	\$ 190	NM
コマーシャル・ライン	(41)	68	NM
個人向け損害保険	40	122	(67)
調整後税引前利益	\$ 92	\$ 334	(72)
<u>引受に関する比率：</u>			
北米外			
損害率	61.7	57.4	4.3 pts
控除:損害率に対する影響：			
大規模自然災害による損失および復活保険料	(6.7)	(0.5)	(6.2)
前年以前事故発生年度の当年度発生保険金	1.4	0.4	1.0
事故発生年度の調整済み損害率	56.4	57.3	(0.9)
事業費率	38.3	37.2	1.1
コンバインド・レシオ	100.0	94.6	5.4
保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオ	94.7	94.5	0.2
北米外・コマーシャル・ライン			
損害率	67.0	63.0	4.0 pts
控除:損害率に対する影響：			
大規模自然災害による損失および復活保険料	(11.3)	(1.0)	(10.3)
前年以前事故発生年度の当年度発生保険金	2.5	(2.4)	4.9
事故発生年度の調整済み損害率	58.2	59.6	(1.4)
事業費率	35.6	33.0	2.6
コンバインド・レシオ	102.6	96.0	6.6
保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオ	93.8	92.6	1.2



(単位：百万米ドル)	3月31日までの3ヶ月間		
	2020	2019	増減
北米外個人向け損害保険			
損害率	56.9	52.4	4.5 pts
控除:損害率に対する影響:			
大規模自然災害による損失および復活保険料	(2.7)	-	(2.7)
前年以前事故発生年度の当年度発生保険金	0.6	2.8	(2.2)
事故発生年度の調整済み損害率	54.8	55.2	(0.4)
事業費率	40.7	41.1	(0.4)
コンバインド・レシオ	97.6	93.5	4.1
保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオ	95.5	96.3	(0.8)

損害保険事業部門 北米外 – コメント

- 正味収入保険料は報告ベースで 9%、実質ベースで 8%、それぞれ減少しました。2019 年を通して実施されたアンダーライティング・アクションおよびランオフ事業の保険料減少が主因ですが、これは保険料率引上げにより部分的に相殺されました。
- 税引前引受損失は100万ドルとなりました。これには再保険調整後のCAT2 億1,400万ドルが含まれており、このうち1億4,900万ドルはCOVID-19に関連したものでした。正味前年以前事故年度の当年度発生戻入金は4,700万ドルで、内訳は北米外コマーシャル・ラインが3,700万ドル、北米外個人向け損害保険が1,000万ドルでした。
- 北米外のコンバインド・レシオは100.0となり、CATおよび復活保険料の6.7ポイント（うち4.7ポイントはCOVID-19関連）および正味前年以前事故年度の当年度発生戻入金1.4ポイントが含まれています。保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオは94.7となり、保険事故年度の調整済み損害率56.4および事業比率38.3が含まれています。保険事故年度の調整済み損害率の0.9ポイントの改善は、保険料率引上げ、アンダーライティング・アクションの恩恵およびリスク選択の改善を反映したものです。
- 事業比率は1.1ポイント上昇しました。費用の減少が正味経既過保険料の低下を下回ったことが上昇の要因でした。



生命保険および退職給付事業部門

(単位：百万米ドル)	3月31日までの3ヶ月間		
	2020	2019	増減
生命保険および退職給付			
収入保険料および手数料	\$ 1,949	\$ 1,936	1 %
正味投資利益	2,003	2,042	(2)
調整後収益	4,172	4,204	(1)
給付、損失および費用	3,598	3,280	10
調整後税引前利益	574	924	(38)
収入保険料および預かり資産	6,903	8,356	(17)
個人向け退職給付			
収入保険料および手数料	\$ 248	\$ 204	22 %
正味投資利益	975	999	(2)
調整後収益	1,370	1,351	1
給付、損失および費用	1,064	843	26
調整後税引前利益	306	508	(40)
収入保険料および預かり資産	3,116	4,186	(26)
正味フロー	(1,594)	133	NM
団体向け退職給付			
収入保険料および手数料	\$ 115	\$ 104	11 %
正味投資利益	517	541	(4)
調整後収益	694	709	(2)
給付、損失および費用	551	477	16
調整後税引前利益	143	232	(38)
収入保険料および預かり資産	1,855	2,063	(10)
正味フロー	(587)	(875)	33
生命保険			
収入保険料および手数料	\$ 789	\$ 768	3 %
正味投資利益	291	291	-
調整後収益	1,091	1,073	2
給付、損失および費用	1,036	957	8
調整後税引前利益	55	116	(53)



収入保険料および預かり資産	1,015	995	2
---------------	-------	-----	---

(単位：百万米ドル)	3月31日までの3ヶ月間		
	2020	2019	増減
機関投資家市場			
収入保険料および手数料	\$ 797	\$ 860	(7) %
正味投資利益	220	211	4
調整後収益	1,017	1,071	(5)
給付、損失および費用	947	1,003	(6)
調整後税引前利益	70	68	3
収入保険料および預かり資産	917	1,112	(18)

生命保険および退職給付事業部門 – コメント

- 生命保険および退職給付事業部門の調整後税引前利益は5億7,400万ドルに減少しました。これに対して、前年同期は9億2,400万ドルでした。前年同期に比した株式市場水準の低下およびクレジット・スプレッドの拡大が調整後税引前利益減少の要因でした。
- 2020 年第 1 四半期の収入保険料は 12 億ドルで、基本的に前年同期から横ばいでした。収入保険料および預かり資産は 69 億ドルとなり、前年同期の 84 億ドルから減少しました。金利低下による 2020 年第 1 四半期の定額型年金預かり資産の減少が主因でした。前年同期は預かり資産が大きく拡大していました。正味フローは引き続き純流出でした。
- 個人向け退職給付は調整後税引前利益 3 億 600 万ドルを計上しました。これに対して、前年同期は 5 億 800 万ドルでした。調整後税引前利益の減少は、株式市場の悪影響が変額年金保険 DAC/SI 償却の増加および積立金増加をもたらした、前年同期に比したクレジット・スプレッドの拡大が FVO 証券の利益低下をもたらしたことによるものです。2020 年第 1 四半期のリテール向けミューチュアル・ファンドを除く正味フロー総額は小幅の純流出となり前年同期から悪化しました。主因は低金利環境に起因する定額型年金保険の販売減ですが、これは変額年金保険の販売好調により部分的に相殺されました。
- 団体向け退職給付は調整後税引前利益 1 億 4,300 万ドルを計上しました。これに対して、前年同期は 2 億 3,200 万ドルでした。調整後税引前利益の減少は、株式市場の悪影響が DAC 償却の増加および積立金増加をもたらした、またクレジット・スプレッドの拡大が FVO 証券の利益低下をもたらしたことによるものです。正味フローは、前年同期比では改善したものの、引き続きマイナスでした。解約の減少が預かり資産の減少により部分的に相殺されたことが主因でした。
- 生命保険は調整後税引前利益 5, 500 万ドルを計上しました。前年同期は 1 億 1,600 万ドルの調整後税引前利益でした。調整後税引前利益の減少の要因は、死亡率上昇および保険支払準備金の増加並びに前年以前事故年度の

当年度発生戻入金および再保険の改善でした。死亡率は 想定料率設定より改善しました。しかしながら、2020 年第 1 四半期には、COVID-19 に起因する潜在的な死亡届遅延に関連する既発生未報告（IBNR）支払準備金の増額が含まれています。

- 機関投資家市場は調整後税引前利益 7,000 万ドルを計上しました。前年同期は 6,800 万ドルの調整後税引前利益でした。調整後税引前利益の増加は、資産ベースの拡大に伴う正味投資利益の増加およびオルタナティブ投資リターンの前年同期比小幅改善によるものです。

AIG グループは、世界の保険業界のリーダーであり、80 以上の国や地域でお客さまにサービスを提供しています。創業以来の100年の経験に基づき、現在では、損害保険、生命保険、退職給付およびその他の金融サービスを幅広く提供しています。AIGグループの商品・サービスを通じた多岐にわたるサポートは、法人および個人のお客さまの資産を守り、リスクマネジメントおよび確かなリタイアメント・セキュリティをお届けします。

持株会社 AIG, Inc.はニューヨーク証券取引所に上場しています。

AIGの追加情報についてはwww.aig.com | You Tube : www.youtube.com/aig | Twitter : @AIGinsurance www.twitter.com/AIGinsurance | LinkedIn : <http://www.linkedin.com/company/aig> を参照ください。AIGに関する追加情報を記載しているこれら参照先は便宜上提供されており、かかるウェブサイトに記載されている情報は、参照することにより本プレスリリースに組み込まれていません。

AIGとは、AIG, Inc.傘下の全世界の損害保険、生命保険、リタイアメント・サービス事業ならびに一般的な保険事業のマーケティング名です。より詳細な情報については当社のホームページ（www.aig.com）を参照ください。全ての商品およびサービスはAIG, Inc.傘下の子会社または関連会社により引き受けまたは提供されています。これらの商品およびサービスは一部の国では利用できない可能性があり、実際の契約に準拠します。保険以外の商品・サービスは、独立した第三者によって提供されることがあります。一部の損害保険の補償については、サープラス・ラインの保険会社によって提供される可能性があります。サープラス・ラインの保険会社は、一般的に米国州政府保証基金に加入しないため、当該基金による保証は行われません。



FOR IMMEDIATE RELEASE

Press Release

AIG
175 Water Street
New York, NY
10038
www.aig.com

Contacts:

Sabra Purtill (Investors): sabra.purtill@aig.com
Shelley Singh (Investors): shelley.singh@aig.com
Daniel O'Donnell (Media): daniel.odonnell@aig.com
Claire Talcott (Media): claire.talcott@aig.com

AIG Reports First Quarter 2020 Results

- Net income attributable to AIG common shareholders was \$1.7 billion, or \$1.98 per diluted common share, for the first quarter of 2020, compared to \$654 million, or \$0.75 per diluted common share, in the prior year quarter, primarily driven by \$3.5 billion of pre-tax net realized capital gains, compared to \$446 million of pre-tax net realized capital losses in the prior year quarter.
- Adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders* was \$99 million, or \$0.11 per diluted common share, for the first quarter of 2020, compared to \$1.4 billion, or \$1.58 per diluted common share, in the prior year quarter.
- General Insurance posted a combined ratio of 101.5 compared to 97.4 in the prior year quarter. The accident year combined ratio, as adjusted*, was 95.5, compared to 96.1 in the prior year quarter, reflecting a better portfolio mix due to disciplined underwriting and continued expense management.
- General Insurance had \$419 million of pre-tax catastrophe losses (CATs), net of reinsurance, in the first quarter. This included \$272 million of estimated COVID-19 losses related to Travel, Contingency, Commercial Property, Trade Credit, Workers' Compensation and Validus Re. The remainder of the CATs were primarily weather-related.
- Life and Retirement reported adjusted pre-tax income of \$574 million, primarily due to declines in equity markets and widening spreads in credit markets triggered by the ongoing COVID-19 crisis.
- Total consolidated net investment income was \$2.5 billion compared to \$3.9 billion in the prior year quarter. Net investment income on an adjusted pre-tax income basis decreased approximately \$1.0 billion to \$2.7 billion, reflecting lower alternative investment returns and losses on fair value option (FVO) securities.
- Book value per common share was \$69.30 at March 31, 2020, a decrease of 8% compared to December 31, 2019. Book value per common share, excluding accumulated other comprehensive income (AOCI) and deferred tax assets (DTA) (Adjusted book value per common share)* was \$60.55, an increase of 3% compared to December 31, 2019.
- Return on Common Equity (ROCE) and Return on Common Equity, excluding AOCI and DTA (Adjusted ROCE)* were 11.2% and 0.8%, respectively, for the three months ended March 31, 2020.

** Refers to financial measure not calculated in accordance with generally accepted accounting principles (non-GAAP); definitions of non-GAAP measures and reconciliations to their closest GAAP measures can be found in this news release under the heading Comment on Regulation G and Non-GAAP Financial Measures.*



NEW YORK, May 4, 2020 - American International Group, Inc. (NYSE: AIG) today reported net income attributable to AIG common shareholders of \$1.7 billion, or \$1.98 per diluted common share, for the first quarter of 2020, compared to \$654 million, or \$0.75 per diluted common share, in the prior year quarter. The improvement was primarily due to \$3.5 billion of pre-tax net realized capital gains largely related to mark-to-market gains from variable annuity and interest rate hedges and the impact of our non-economic non-performance risk adjustment, per GAAP, on the fair value of our liabilities compared to \$446 million of pre-tax net realized capital losses in the prior year quarter.

Adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders was \$99 million, or \$0.11 per diluted common share, for the first quarter of 2020, compared to \$1.4 billion, or \$1.58 per diluted common share, in the prior year quarter. The decrease was primarily due to lower net investment income driven by declines in equity markets and losses on FVO bonds from widening spreads in credit markets, and the impact of COVID-19.

Brian Duperreault, AIG's Chief Executive Officer, said: "In the face of COVID-19, an unprecedented global catastrophe, our colleagues have shown great resilience and remain focused on what we do best, which is helping our clients manage risk, especially in difficult times.

"It has been heartbreaking to watch this humanitarian crisis unfold over the last few months. At the same time, the courage, compassion and empathy that have emerged, particularly from first responders, health care providers and others on the front lines, has been heartwarming. AIG is committed to assisting with relief efforts across the globe and will be making an inaugural \$5 million contribution to our recently reinstated AIG Foundation for this purpose.

"AIG was in a strong financial position before this crisis began and remains in a strong financial position today. While we believe COVID-19 will be the single largest CAT loss the industry has ever seen, the significant body of work our team has undertaken since late 2017 has served us well as we navigate through this evolving situation. AIG is well-positioned to emerge as a global insurer of choice with significant financial flexibility.

"In the first quarter of 2020, our core businesses delivered strong results building on the momentum we had coming into the year. In General Insurance, the adjusted accident year combined ratio continued to improve, and Life and Retirement delivered solid results despite unfavorable capital markets and continued low interest rates.

"The COVID-19 crisis has created significant uncertainty, and it will take time to understand its broader ramifications. In light of this, AIG is withdrawing previously issued guidance, including that relating to Adjusted Return on Common Equity. However, we do expect to see continued improvement in General Insurance, particularly in the adjusted combined ratio, and, in Life and Retirement, we do not



believe that the impact of COVID-19 will result in a material reduction of our long-term return profile.

“While the new normal COVID-19 will create for each of us is still unknown, I am confident that AIG will continue to move forward on its journey to become a top performing company and leading insurance franchise.”

FINANCIAL SUMMARY

	Three Months Ended March 31,	
	2020	2019
<i>(\$ in millions, except per common share amounts)</i>		
Net income attributable to AIG common shareholders	\$ 1,742	\$ 654
Net income per diluted share attributable to AIG common shareholders	\$ 1.98	\$ 0.75
Weighted average common shares outstanding - diluted	878.9	877.5
Adjusted pre-tax income (loss):		
General Insurance	\$ 501	\$ 1,268
Life and Retirement	574	924
Other Operations	(535)	(457)
Legacy	(368)	112
Total	\$ 172	\$ 1,847
Adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders	\$ 99	\$ 1,388
Adjusted after-tax income per diluted share attributable to AIG common shareholders	\$ 0.11	\$ 1.58
Return on common equity	11.2 %	4.5 %
Return on tangible common equity*	12.2 %	4.9 %
Adjusted return on common equity	0.8 %	11.6 %
Adjusted return on tangible common equity*	0.9 %	13.1 %
Adjusted return on attributed common equity - Core*	3.4 %	13.4 %
Common shares outstanding	861.3	869.7
Book value per common share	\$ 69.30	\$ 69.33
Tangible book value per common share*	63.33	63.10
Book value per common share, excluding accumulated other comprehensive income*	70.45	66.89
Adjusted book value per common share	60.55	55.47
Adjusted tangible book value per common share*	54.58	49.24
General Insurance Combined ratio	101.5	97.4
General Insurance Accident year combined ratio, as adjusted	95.5	96.1
Adjusted return on attributed common equity - Life and Retirement*	8.4 %	15.0 %

All comparisons are against the first quarter of 2019, unless otherwise indicated. Refer to the AIG First Quarter 2020 Financial Supplement, which is posted on AIG's website in the Investors section, for further information.



FIRST QUARTER 2020 HIGHLIGHTS

General Insurance – First quarter adjusted pre-tax income of \$501 million was comprised of an underwriting loss of \$87 million and net investment income of \$588 million. The underwriting loss included the impact of \$272 million of estimated COVID-19 related losses, without which General Insurance would have reported an underwriting profit. Favorable net prior year loss reserve development, net of reinsurance, totaled \$60 million, and was primarily due to \$53 million of amortization from the Adverse Development Cover (ADC). CATs, net of reinsurance, totaled \$419 million, including \$272 million related to COVID-19. AIG is continually reassessing its exposures in light of unfolding developments in the U.S. and globally and evaluating coverage under its reinsurance arrangements.

The General Insurance combined ratio was 101.5, including 6.9 points of CATs, of which 4.5 points related to COVID-19 losses. The accident year combined ratio, as adjusted, was 95.5, comprised of a 60.8 accident year loss ratio, as adjusted*, an improvement of 1.0 point from the prior year quarter, and an expense ratio of 34.7. The improvement in accident year loss ratio, as adjusted, reflected the underwriting and reinsurance actions taken to improve business mix and loss performance, and improved rate adequacy. General Insurance also reduced general operating expenses (GOE) by 8% to \$776 million.

Life and Retirement – First quarter adjusted pre-tax income was \$574 million compared to \$924 million in the prior year quarter. The decrease reflected unfavorable impacts from equity markets which primarily resulted in higher Variable Annuity reserves and accelerated deferred acquisition cost (DAC) and sales inducement (SI) amortization. In addition, widening credit spreads resulted in a decrease in net investment income from lower returns on FVO bonds and the Retirement businesses continued to see spread compression given the low interest rate environment. Net flows were unfavorable compared to the prior year quarter primarily due to lower Fixed Annuity sales and higher Retail Mutual Fund surrenders, partially offset by higher Variable Annuity sales and lower surrenders in Group Retirement. Life and Retirement's Adjusted ROCE for the first quarter of 2020 was 8.4%.

Net Investment Income – First quarter net investment income was \$2.5 billion compared to \$3.9 billion in the prior year quarter. Net investment income on an adjusted pre-tax income basis decreased approximately \$1.0 billion to \$2.7 billion. The decrease reflected lower alternative investment income compared to the prior year quarter and other investment losses in the first quarter of 2020 compared to other investment income in the prior year quarter, primarily driven by FVO securities.

AIG significantly expanded its disclosures in the financial supplement to provide greater detail on its investment portfolio, including information on its separate General Insurance, Life and Retirement and Legacy portfolios. As a global multi-line insurer, AIG's consolidated portfolio does not readily compare to property and casualty or life insurance peers. The detail should enable additional analysis of the separate portfolios to similar peers.



Other Operations – First quarter adjusted pre-tax loss was \$535 million, including \$84 million of reductions from consolidation, eliminations and other adjustments, compared to \$457 million in the prior year quarter. Before consolidation, eliminations and other adjustments, the increase in the pre-tax loss was primarily due to higher GOE of \$66 million from higher compensation, including the issuance of a \$500 grant to each employee globally, which equates to \$30 million in the aggregate, to help with unanticipated costs due to COVID-19. In addition, the loss included higher technology costs, partially offset by higher net investment income associated with consolidated investment entities. At the end of March, AIG decided to place Blackboard U.S. Holdings, Inc. (Blackboard), AIG's technology-driven subsidiary, into run-off. As a result of this decision, AIG recognized a pre-tax loss of \$210 million, primarily consisting of asset impairment charges; this charge did not impact adjusted pre-tax income.

Legacy Results – First quarter adjusted pre-tax loss was \$368 million compared to adjusted pre-tax income of \$112 million in the prior year quarter, reflecting losses, principally mark-to-market, on FVO investment portfolios compared to gains in the prior year quarter, as well as lower Legacy Life and Retirement net investment income from alternative investments.

Included in the Legacy results is Fortitude Reinsurance Company Ltd (Fortitude Re). AIG agreed in November 2019 to sell a controlling financial interest in Fortitude Group Holdings, LLC, the holding company for Fortitude Re. The sale is expected to close in mid-2020, subject to required regulatory approvals and other customary closing conditions.

Book Value per Common Share – As of March 31, 2020, book value per common share was \$69.30 compared to \$74.93 at December 31, 2019, largely driven by net unrealized mark-to-market losses on available for sale fixed maturities due to the impact of wider credit spreads as of March 31, 2020. Adjusted book value per common share, which excludes AOCI and DTA, increased slightly to \$60.55 compared to the prior year end as a result of \$1.7 billion of net income attributable to AIG for the quarter.

Tangible book value per common share was \$63.33 compared to \$68.93 at December 31, 2019. Adjusted tangible book value per common share, which is Adjusted book value per common share excluding Goodwill, Value of Business Acquired (VOBA), Value of Distribution Channel Acquired (VODA) and Other Intangible Assets was \$54.58 compared to \$52.88 at December 31, 2019.

Liquidity and Capital – As of March 31, 2020, AIG Parent liquidity stood at approximately \$7.5 billion. In March, AIG borrowed, and it currently has outstanding, \$1.3 billion under its \$4.5 billion committed revolving syndicated credit facility. Also, in March, AIG redeemed \$350 million aggregate principal amount of its 4.35% Callable Notes Due 2045.



AIG repurchased approximately 12 million shares of AIG Common Stock during the first quarter for an aggregate purchase price of \$500 million under an accelerated share repurchase agreement entered into in February. As of March 31, 2020, \$1.5 billion remained under AIG's share repurchase authorization.

Income Taxes – The first quarter effective tax rate on pre-tax income was 35.3% primarily as a result of a \$274 million valuation allowance. The effective tax rate on adjusted pre-tax income was 48.8% and differs from the statutory tax rate of 21% primarily due to excess tax charges related to share based compensation payments recorded through the income statement, tax charges associated with the effect of foreign operations, state and local income taxes, and non-deductible transfer pricing charges, partially offset by tax benefits associated with tax exempt income. The effect of foreign operations was primarily related to income in foreign operations taxed at statutory tax rates higher than 21%, other foreign taxes, and foreign income subject to U.S. taxation.

GENERAL INSURANCE

(\$ in millions)	Three Months Ended March 31,		
	2020	2019	Change
Total General Insurance			
Gross premiums written	\$ 10,086	\$ 10,195	(1) %
Net premiums written	\$ 5,921	\$ 6,033	(2)
Underwriting income (loss)	\$ (87)	\$ 179	NM
Adjusted pre-tax income	\$ 501	\$ 1,268	(60)
Underwriting ratios:			
Loss ratio	66.8	63.1	3.7 pts
<i>Less: impact on loss ratio</i>			
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(6.9)	(2.7)	(4.2)
Prior year development	0.9	1.0	(0.1)
Adjustments for ceded premium under reinsurance contracts and other	-	0.4	(0.4)
Accident year loss ratio, as adjusted	60.8	61.8	(1.0)
Expense ratio	34.7	34.3	0.4
Combined ratio	101.5	97.4	4.1
Accident year combined ratio, as adjusted	95.5	96.1	(0.6)



General Insurance - North America

(\$ in millions)	Three Months Ended March 31,		
	2020	2019	Change
North America			
Net premiums written	\$ 2,770	\$ 2,578	7 %
Commercial Lines	2,225	1,998	11
Personal Insurance	545	580	(6)
Underwriting income (loss)	\$ (86)	\$ (11)	NM
Commercial Lines	(1)	54	NM
Personal Insurance	(85)	(65)	(31)
Adjusted pre-tax income	\$ 409	\$ 934	(56)
<u>Underwriting ratios:</u>			
North America			
Loss ratio	72.2	69.4	2.8 pts
<i>Less: impact on loss ratio</i>			
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(7.0)	(5.1)	(1.9)
Prior year development	0.2	1.8	(1.6)
Adjustments for ceded premium under reinsurance contracts and other	-	1.0	(1.0)
Accident year loss ratio, as adjusted	65.4	67.1	(1.7)
Expense ratio	30.8	30.9	(0.1)
Combined ratio	103.0	100.3	2.7
Accident year combined ratio, as adjusted	96.2	98.0	(1.8)
North America Commercial Lines			
Loss ratio	72.7	70.7	2.0 pts
<i>Less: impact on loss ratio</i>			
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(6.7)	(5.1)	(1.6)
Prior year development	2.2	2.8	(0.6)
Adjustments for ceded premium under reinsurance contracts and other	-	1.0	(1.0)
Accident year loss ratio, as adjusted	68.2	69.4	(1.2)
Expense ratio	27.3	27.0	0.3
Combined ratio	100.0	97.7	2.3
Accident year combined ratio, as adjusted	95.5	96.4	(0.9)
North America Personal Insurance			
Loss ratio	70.8	65.4	5.4 pts
<i>Less: impact on loss ratio</i>			
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(7.9)	(5.0)	(2.9)
Prior year development	(5.1)	(1.2)	(3.9)
Adjustments for ceded premium under reinsurance contract	-	0.9	(0.9)
Accident year loss ratio, as adjusted	57.8	60.1	(2.3)
Expense ratio	40.2	42.9	(2.7)
Combined ratio	111.0	108.3	2.7
Accident year combined ratio, as adjusted	98.0	103.0	(5.0)



General Insurance North America – Commentary

- Net premiums written increased by 7% to \$2.8 billion primarily due to growth in the assumed reinsurance business, Retail and Wholesale Property, as well as strong Commercial Lines rate increases, partially offset by underwriting actions taken through 2019.
- Pre-tax underwriting loss of \$86 million included \$205 million of CATs, net of reinsurance, of which \$123 million related to COVID-19. Favorable net prior year loss reserve development was \$13 million, with favorable net prior year loss reserve development of \$53 million for North America Commercial Lines partially offset by unfavorable net prior year loss reserve development of \$40 million for North America Personal Insurance. North America Commercial Lines favorable net prior loss reserve development included \$53 million of amortization from the ADC compared to \$58 million in the prior year quarter.
- The North America combined ratio of 103.0 included 7.0 points of CATs and reinstatement premiums of which 4.2 points related to COVID-19 and 0.2 points related to favorable net prior year loss reserve development. The accident year combined ratio, as adjusted, was 96.2, comprised of a 65.4 accident year loss ratio, as adjusted, and a 30.8 expense ratio. The 1.7 points improvement in the accident year loss ratio, as adjusted, was driven by change in business mix and strong rate increases, as well as benefits from underwriting actions taken in 2019.
- The expense ratio improved slightly as the decline in GOE, driven by ongoing expense discipline, was greater than the decline in net premiums earned.



General Insurance - International

(\$ in millions)	Three Months Ended March 31,		
	2020	2019	Change
International			
Net premiums written	\$ 3,151	\$ 3,455	(9) %
Commercial Lines	1,577	1,780	(11)
Personal Insurance	1,574	1,675	(6)
Underwriting income (loss)	\$ (1)	\$ 190	NM
Commercial Lines	(41)	68	NM
Personal Insurance	40	122	(67)
Adjusted pre-tax income	\$ 92	\$ 334	(72)
<u>Underwriting ratios:</u>			
International			
Loss ratio	61.7	57.4	4.3 pts
<i>Less: impact on loss ratio</i>			
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(6.7)	(0.5)	(6.2)
Prior year development	1.4	0.4	1.0
Accident year loss ratio, as adjusted	56.4	57.3	(0.9)
Expense ratio	38.3	37.2	1.1
Combined ratio	100.0	94.6	5.4
Accident year combined ratio, as adjusted	94.7	94.5	0.2
International Commercial Lines			
Loss ratio	67.0	63.0	4.0 pts
<i>Less: impact on loss ratio</i>			
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(11.3)	(1.0)	(10.3)
Prior year development	2.5	(2.4)	4.9
Accident year loss ratio, as adjusted	58.2	59.6	(1.4)
Expense ratio	35.6	33.0	2.6
Combined ratio	102.6	96.0	6.6
Accident year combined ratio, as adjusted	93.8	92.6	1.2
International Personal Insurance			
Loss ratio	56.9	52.4	4.5 pts
<i>Less: impact on loss ratio</i>			
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(2.7)	-	(2.7)
Prior year development	0.6	2.8	(2.2)
Accident year loss ratio, as adjusted	54.8	55.2	(0.4)
Expense ratio	40.7	41.1	(0.4)
Combined ratio	97.6	93.5	4.1
Accident year combined ratio, as adjusted	95.5	96.3	(0.8)



General Insurance International – Commentary

- Net premiums written decreased 9% on a reported basis and 8% on a constant dollar basis, driven by lower production primarily due to underwriting actions taken through 2019, as well as lower premiums from run-off business, partially offset by premium rate increases.
- A pre-tax underwriting loss of \$1 million included \$214 million of CATs, net of reinsurance, of which \$149 million related to COVID-19. Favorable net prior year loss reserve development was \$47 million, with \$37 million of favorable net prior year loss reserve development in International Commercial Lines and \$10 million in International Personal Insurance.
- The International combined ratio of 100.0 included 6.7 points of CATs and reinstatement premiums of which 4.7 points related to COVID-19 and 1.4 points related to favorable net prior year loss reserve development. The accident year combined ratio, as adjusted, of 94.7 was comprised of a 56.4 accident year loss ratio, as adjusted, and a 38.3 expense ratio. The 0.9 points improvement in the accident year loss ratio, as adjusted, reflected premium rate increases, benefits from underwriting actions and better risk selection.
- The expense ratio increased 1.1 points as the decline in expenses was less than the decline in net premiums earned.



LIFE AND RETIREMENT

(\$ in millions)	Three Months Ended March 31,		
	2020	2019	Change
Life and Retirement			
Premiums & fees	\$ 1,949	\$ 1,936	1 %
Net investment income	2,003	2,042	(2)
Adjusted revenues	4,172	4,204	(1)
Benefits, losses and expenses	3,598	3,280	10
Adjusted pre-tax income	574	924	(38)
Premiums and deposits	6,903	8,356	(17)
Individual Retirement			
Premiums & fees	\$ 248	\$ 204	22 %
Net investment income	975	999	(2)
Adjusted revenues	1,370	1,351	1
Benefits, losses and expenses	1,064	843	26
Adjusted pre-tax income	306	508	(40)
Premiums and deposits	3,116	4,186	(26)
Net flows	(1,594)	133	NM
Group Retirement			
Premiums & fees	\$ 115	\$ 104	11 %
Net investment income	517	541	(4)
Adjusted revenues	694	709	(2)
Benefits, losses and expenses	551	477	16
Adjusted pre-tax income	143	232	(38)
Premiums and deposits	1,855	2,063	(10)
Net flows	(587)	(875)	33
Life Insurance			
Premiums & fees	\$ 789	\$ 768	3 %
Net investment income	291	291	-
Adjusted revenues	1,091	1,073	2
Benefits, losses and expenses	1,036	957	8
Adjusted pre-tax income	55	116	(53)
Premiums and deposits	1,015	995	2
Institutional Markets			
Premiums & fees	\$ 797	\$ 860	(7) %
Net investment income	220	211	4
Adjusted revenues	1,017	1,071	(5)
Benefits, losses and expenses	947	1,003	(6)
Adjusted pre-tax income	70	68	3
Premiums and deposits	917	1,112	(18)



Life and Retirement – Commentary

- Life and Retirement reported a decrease in adjusted pre-tax income to \$574 million compared to \$924 million in the prior year quarter, driven by lower equity market levels and wider credit spreads compared to the prior year quarter.
- Premiums were \$1.2 billion in the first quarter of 2020, essentially flat compared to the prior year quarter. Premiums and deposits decreased to \$6.9 billion compared to \$8.4 billion in the prior year quarter primarily due to lower Fixed Annuities deposits in the first quarter of 2020 driven by lower interest rates, compared to strong deposit volumes in the prior year quarter. Net flows continued to be negative.
- Individual Retirement reported adjusted pre-tax income of \$306 million compared to \$508 million in the prior year quarter. Adjusted pre-tax income decreased as a result of unfavorable impacts from equity markets driving higher Variable Annuity DAC/SI amortization and higher reserves, along with widening credit spreads driving lower income on FVO securities compared to the prior year quarter. Total net flows excluding Retail Mutual Funds were slightly negative in the quarter and unfavorable compared to the prior year period, driven by lower Fixed Annuity sales resulting from the lower interest rate environment, partially offset by favorable Variable Annuity sales.
- Group Retirement reported adjusted pre-tax income of \$143 million compared to \$232 million in the prior year quarter. The decrease in adjusted pre-tax income was driven by the unfavorable impacts from equity markets resulting in higher DAC amortization and higher reserves, and widening credit spreads resulting in lower income on FVO securities. Net flows remained negative, although favorable compared to the prior year quarter, primarily due to lower surrenders partially offset by lower deposits.
- Life Insurance reported adjusted pre-tax income of \$55 million compared to adjusted pre-tax income of \$116 million in the prior year quarter due to higher mortality and insurance reserves, and prior year favorable reserve and reinsurance refinements. Mortality was better than pricing assumptions; however, the first quarter of 2020 included an incurred but not reported (IBNR) reserve strengthening related to potential death notice delays due to COVID-19.
- Institutional Markets adjusted pre-tax income of \$70 million increased from \$68 million in the prior year quarter due to higher net investment income on a growing asset base and slightly favorable alternative investment returns compared to the prior year quarter.



CONFERENCE CALL

AIG will host a conference call tomorrow, Tuesday, May 5, 2020 at 8:00 a.m. ET to review these results. The call is open to the public and can be accessed via a live listen-only webcast in the Investors section of www.aig.com. A replay will be available after the call at the same location.

#

Additional supplementary financial data is available in the Investors section at www.aig.com.

The conference call (including the financial results presentation material), the earnings release and the financial supplement may include, and officers and representatives of AIG may from time to time make and discuss, projections, goals, assumptions and statements that may constitute “forward-looking statements” within the meaning of the Private Securities Litigation Reform Act of 1995. These projections, goals, assumptions and statements are not historical facts but instead represent only a belief regarding future events, many of which, by their nature, are inherently uncertain and outside AIG’s control. These projections, goals, assumptions and statements include statements preceded by, followed by or including words such as “will,” “believe,” “anticipate,” “expect,” “intend,” “plan,” “focused on achieving,” “view,” “target,” “goal” or “estimate.” These projections, goals, assumptions and statements may relate to future actions, prospective services or products, future performance or results of current and anticipated services or products, sales efforts, expenses, the outcome of contingencies such as legal proceedings, anticipated organizational, business or regulatory changes, the effect of catastrophes and macroeconomic events, such as COVID-19, anticipated dispositions, monetization and/or acquisitions of businesses or assets, or successful integration of acquired businesses, management succession and retention plans, exposure to risk, trends in operations and financial results.

It is possible that AIG’s actual results and financial condition will differ, possibly materially, from the results and financial condition indicated in these projections, goals, assumptions and statements. Factors that could cause AIG’s actual results to differ, possibly materially, from those in the specific projections, goals, assumptions and statements include:

- the adverse impact of COVID-19, including with respect to AIG’s business, financial condition and results of operations;
- changes in market and industry conditions, including the significant global economic slowdown, general market declines and disruptions to AIG’s operations driven by COVID-19 and responses thereto, including new or changed governmental policy and regulatory actions;
- the occurrence of catastrophic events, both natural and man-made, including COVID-19, pandemics and the effects of climate change;



- AIG's ability to effectively execute on AIG 200 operational programs designed to achieve underwriting excellence, modernization of AIG's operating infrastructure, enhanced user and customer experiences and unification of AIG;
- AIG's ability to consummate the sale of its controlling interest in Fortitude Holdings and its ability to successfully manage Legacy Portfolios;
- changes in judgments concerning potential cost saving opportunities;
- actions by credit rating agencies;
- changes in judgments concerning insurance underwriting and insurance liabilities;
- the impact of potential information technology, cybersecurity or data security breaches, including as a result of cyber-attacks or security vulnerabilities, the likelihood of which may increase due to extended remote business operations as a result of COVID-19;
- disruptions in the availability of AIG's electronic data systems or those of third parties;
- the effectiveness of strategies to recruit and retain key personnel and to implement effective succession plans;
- the requirements, which may change from time to time, of the global regulatory framework to which AIG is subject;
- significant legal, regulatory or governmental proceedings;
- concentrations in AIG's investment portfolios;
- changes to the valuation of AIG's investments;
- AIG's ability to successfully dispose of, monetize and/or acquire businesses or assets or successfully integrate acquired businesses;
- changes in judgments concerning the recognition of deferred tax assets and the impairment of goodwill;
- the effectiveness of our risk management policies and procedures, including with respect to our business continuity and disaster recovery plans; and
- such other factors discussed in Part I, Item 2. Management's Discussion and Analysis of Financial Condition and Results of Operations (MD&A) and Part II, Item 1A. Risk Factors in AIG's Quarterly Report on Form 10-Q for the quarterly period ended March 31, 2020 (which will be filed with the Securities and Exchange Commission), and Part I, Item 1A. Risk Factors and Part II, Item 7. MD&A in AIG's Annual Report on Form 10-K for the year ended December 31, 2019.

COVID-19 is adversely affecting, and is expected to continue to adversely affect, our business, financial condition and results of operations, its ultimate impact of which will depend on future developments that are uncertain and cannot be predicted, including the scope and duration of the crisis and actions taken by governmental and regulatory authorities in response thereto. Even after the crisis subsides, it is possible that the U.S. and other major economies will experience a prolonged recession, in which event our businesses, results of operations and financial condition could be materially and adversely affected. Statements about the effects of COVID-19 on our business, financial condition and results of operations may constitute forward-looking statements and are subject to the risk that the actual impacts may differ, possibly materially, from what is reflected in those forward-looking statements due to factors and future developments that



are uncertain, unpredictable and in many cases beyond our control, including the scope and duration of the COVID-19 and actions taken by governmental and regulatory authorities in response to mitigate its impact.

AIG is not under any obligation (and expressly disclaims any obligation) to update or alter any projections, goals, assumptions or other statements, whether written or oral, that may be made from time to time, whether as a result of new information, future events or otherwise.

#

COMMENT ON REGULATION G AND NON-GAAP FINANCIAL MEASURES

Throughout this press release, including the financial highlights, AIG presents its financial condition and results of operations in the way it believes will be most meaningful and representative of its business results. Some of the measurements AIG uses are “non-GAAP financial measures” under Securities and Exchange Commission rules and regulations. GAAP is the acronym for “generally accepted accounting principles” in the United States. The non-GAAP financial measures AIG presents are listed below and may not be comparable to similarly-named measures reported by other companies. The reconciliations of such measures to the most comparable GAAP measures in accordance with Regulation G are included within the relevant tables attached to this news release or in the First Quarter 2020 Financial Supplement available in the Investors section of AIG’s website, www.aig.com.

Book Value per Common Share, Excluding Accumulated Other Comprehensive Income (AOCI), and Book Value per Common Share, Excluding AOCI and Deferred Tax Assets (DTA) (Adjusted Book Value per Common Share) are used to show the amount of AIG’s net worth on a per-common share basis. AIG believes these measures are useful to investors because they eliminate items that can fluctuate significantly from period to period, including changes in fair value of AIG’s available for sale securities portfolio, foreign currency translation adjustments and U.S. tax attribute deferred tax assets. These measures also eliminate the asymmetrical impact resulting from changes in fair value of AIG’s available for sale securities portfolio wherein there is largely no offsetting impact for certain related insurance liabilities. AIG excludes deferred tax assets representing U.S. tax attributes related to net operating loss carryforwards and foreign tax credits as they have not yet been utilized. Amounts for interim periods are estimates based on projections of full-year attribute utilization. As net operating loss carryforwards and foreign tax credits are utilized, the portion of the DTA utilized is included in these book value per common share metrics. Book value per common share, excluding AOCI, is derived by dividing Total AIG common shareholders’ equity, excluding AOCI, by total common shares outstanding. Adjusted Book Value per Common Share is derived by dividing Total AIG common shareholders’ equity, excluding AOCI and DTA (**Adjusted Common Shareholders’ Equity**), by total common shares outstanding.

Book Value per Common Share, Excluding Goodwill, Value of Business Acquired (VOBA), Value of Distribution Channel Acquired (VODA) and Other Intangible



Assets (Tangible Book Value per Common Share) and Tangible Book Value per Common Share, Excluding AOCI and Deferred Tax Assets (DTA) (Adjusted Tangible Book Value per Common Share) are used to provide more accurate measure of the realizable value of shareholder on a per-common share basis. Tangible Book Value per Common Share is derived by dividing Total AIG common shareholders' equity, excluding Goodwill, VOBA, VODA and Other intangible assets, by total common shares outstanding (Tangible Book Value per Common Share). Adjusted Tangible Book Value per Common Share is derived by dividing Total AIG common shareholders' equity, excluding intangible assets, AOCI and DTA (**Adjusted Tangible Common Shareholders' Equity**), by total common shares outstanding.

AIG Return on Common Equity – Adjusted After-tax Income Excluding AOCI and DTA (Adjusted Return on Common Equity) is used to show the rate of return on common shareholders' equity. AIG believes this measure is useful to investors because it eliminates items that can fluctuate significantly from period to period, including changes in fair value of AIG's available for sale securities portfolio, foreign currency translation adjustments and U.S. tax attribute deferred tax assets. This measure also eliminates the asymmetrical impact resulting from changes in fair value of AIG's available for sale securities portfolio wherein there is largely no offsetting impact for certain related insurance liabilities. AIG excludes deferred tax assets representing U.S. tax attributes related to net operating loss carryforwards and foreign tax credits as they have not yet been utilized. Amounts for interim periods are estimates based on projections of full-year attribute utilization. As net operating loss carryforwards and foreign tax credits are utilized, the portion of the DTA utilized is included in Adjusted Return on Common Equity. Adjusted Return on Common Equity is derived by dividing actual or annualized adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders by average Adjusted Common Shareholders' Equity.

AIG Return on Common Equity, Excluding Goodwill, Value of Business Acquired (VOBA), Value of Distribution Channel Acquired (VODA) and Other Intangible assets (Return on Tangible Common Equity) and Return on Tangible Common Equity – Adjusted After-tax Income, Excluding Goodwill, Value of Business Acquired (VOBA), Value of Distribution Channel Acquired (VODA) and Other Intangible assets, AOCI and DTA (Adjusted Return on Tangible Common Equity) is used to provide the rate of return on tangible common shareholder's equity, which is a more accurate measure of realizable shareholder value. AIG excludes Goodwill, VOBA, VODA and Other intangible assets from AIG common shareholders' equity to drive tangible common shareholders' equity (AIG Tangible Common Shareholders' Equity). Return on Tangible Common Equity is derived by dividing actual or annualized after-tax income attributable to AIG common shareholders by average Tangible Common Shareholders' Equity. AIG further excludes AOCI and DTA in Adjusted Tangible Common Equity. Adjusted Return on Tangible Common Equity is derived by dividing actual or annualized adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders by average Adjusted Tangible Common Shareholders' Equity.

Core and Life and Retirement Adjusted Attributed Common Equity is an attribution of total AIG Adjusted Common Shareholders' Equity to these segments based on AIG's



internal capital model, which incorporates the segments' respective risk profiles. Adjusted attributed common equity represents AIG's best estimates based on current facts and circumstances and will change over time.

Core and Life and Retirement Return on Common Equity – Adjusted After-tax Income (Adjusted Return on Attributed Common Equity) is used to show the rate of return on Adjusted Attributed Common Equity. Adjusted Return on Attributed Common Equity is derived by dividing actual or annualized Adjusted After-tax Income by Average Adjusted Attributed Common Equity.

Adjusted After-tax Income Attributable to Core and Life and Retirement is derived by subtracting attributed interest expense, income tax expense and attributed dividends on preferred stock from adjusted pre-tax income. Attributed debt and the related interest expense and dividends on preferred stock are calculated based on AIG's internal capital model. Tax expense or benefit is calculated based on an internal attribution methodology that considers among other things the taxing jurisdiction in which the segments conduct business, as well as the deductibility of expenses in those jurisdictions.

Adjusted Revenues exclude Net realized capital gains (losses), income from non-operating litigation settlements (included in Other income for GAAP purposes) and changes in fair value of securities used to hedge guaranteed living benefits (included in Net investment income for GAAP purposes). Adjusted revenues is a GAAP measure for AIG's operating segments.

AIG uses the following operating performance measures because AIG believes they enhance the understanding of the underlying profitability of continuing operations and trends of AIG's business segments. AIG believes they also allow for more meaningful comparisons with AIG's insurance competitors. When AIG uses these measures, reconciliations to the most comparable GAAP measure are provided on a consolidated basis.

Adjusted Pre-tax Income (APTI) is derived by excluding the items set forth below from income from continuing operations before income tax. This definition is consistent across AIG's segments. These items generally fall into one or more of the following broad categories: legacy matters having no relevance to AIG's current businesses or operating performance; adjustments to enhance transparency to the underlying economics of transactions; and measures that AIG believes to be common to the industry. APTI is a



GAAP measure for AIG's segments. Excluded items include the following:

- changes in fair value of securities used to hedge guaranteed living benefits;
- changes in benefit reserves and deferred policy acquisition costs (DAC), value of business acquired (VOBA), and sales inducement assets (SIA) related to net realized capital gains and losses;
- changes in the fair value of equity securities;
- loss (gain) on extinguishment of debt;
- all net realized capital gains and losses except earned income (periodic settlements and changes in settlement accruals) on derivative instruments used for non-qualifying (economic) hedging or for asset replication. Earned income on such economic hedges is reclassified from net realized capital gains and losses to specific APTI line items based on the economic risk being hedged (e.g. net investment income and interest credited to policyholder account balances);
- income or loss from discontinued operations;
- net loss reserve discount benefit (charge);
- pension expense related to a one-time lump sum payment to former employees;
- income and loss from divested businesses;
- non-operating litigation reserves and settlements;
- restructuring and other costs related to initiatives designed to reduce operating expenses, improve efficiency and simplify AIG's organization;
- the portion of favorable or unfavorable prior year reserve development for which AIG has ceded the risk under retroactive reinsurance agreements and related changes in amortization of the deferred gain;
- integration and transaction costs associated with acquired businesses;
- losses from the impairment of goodwill; and
- non-recurring costs associated with the implementation of non-ordinary course legal or regulatory changes or changes to accounting principles.

Adjusted After-tax Income attributable to AIG common shareholders (AATI) is derived by excluding the tax effected APTI adjustments described above, dividends on preferred stock, and the following tax items from net income attributable to AIG:

- deferred income tax valuation allowance releases and charges;
- changes in uncertain tax positions and other tax items related to legacy matters having no relevance to AIG's current businesses or operating performance; and
- net tax charge related to the enactment of the Tax Cuts and Jobs Act (Tax Act); and by excluding the net realized capital gains (losses) from noncontrolling interests.

See page 21 for the reconciliation of Net income attributable to AIG to Adjusted After-tax Income Attributable to AIG.



Ratios: AIG, along with most property and casualty insurance companies, uses the loss ratio, the expense ratio and the combined ratio as measures of underwriting performance. These ratios are relative measurements that describe, for every \$100 of net premiums earned, the amount of losses and loss adjustment expenses (which for General Insurance excludes net loss reserve discount), and the amount of other underwriting expenses that would be incurred. A combined ratio of less than 100 indicates underwriting income and a combined ratio of over 100 indicates an underwriting loss. AIG's ratios are calculated using the relevant segment information calculated under GAAP, and thus may not be comparable to similar ratios calculated for regulatory reporting purposes. The underwriting environment varies across countries and products, as does the degree of litigation activity, all of which affect such ratios. In addition, investment returns, local taxes, cost of capital, regulation, product type and competition can have an effect on pricing and consequently on profitability as reflected in underwriting income and associated ratios.

Accident year loss and combined ratios, as adjusted: both the accident year loss and combined ratios, as adjusted, exclude catastrophe losses and related reinstatement premiums, prior year development, net of premium adjustments, and the impact of reserve discounting. Natural catastrophe losses are generally weather or seismic events having a net impact on AIG in excess of \$10 million each and man-made catastrophe losses, such as terrorism and civil disorders that exceed the \$10 million threshold. AIG believes that as adjusted ratios are meaningful measures of AIG's underwriting results on an ongoing basis as they exclude catastrophes and the impact of reserve discounting which are outside of management's control. AIG also excludes prior year development to provide transparency related to current accident year results.

Underwriting ratios are computed as follows:

- a) Loss ratio = Loss and loss adjustment expenses incurred ÷ Net premiums earned (NPE)
- b) Acquisition ratio = Total acquisition expenses ÷ NPE
- c) General operating expense ratio = General operating expenses ÷ NPE
- d) Expense ratio = Acquisition ratio + General operating expense ratio
- e) Combined ratio = Loss ratio + Expense ratio
- f) Accident year loss ratio, as adjusted (AYLR) = [Loss and loss adjustment expenses incurred – CATs – PYD] ÷ [NPE +/- Reinstatement premiums related to catastrophes (CYRIPs) +/- RIPs related to prior year catastrophes (PYRIPs) + (Additional) returned premium related to PYD on loss sensitive business ((AP)RP) + Adjustment for ceded premiums under reinsurance contracts related to prior accident years]
- g) Accident year combined ratio, as adjusted = AYLR + Expense ratio
- h) Catastrophe losses (CATs) and reinstatement premiums = [Loss and loss adjustment expenses incurred – (CATs)] ÷ [NPE +/- CYRIPs] – Loss ratio
- i) Prior year development net of (additional) return premium related to PYD on loss sensitive business = [Loss and loss adjustment expenses incurred – CATs – PYD] ÷ [NPE +/- CYRIPs +/- PYRIPs + (AP)RP] – Loss ratio – CAT ratio



FOR IMMEDIATE RELEASE

Premiums and deposits: includes direct and assumed amounts received and earned on traditional life insurance policies, group benefit policies and life-contingent payout annuities, as well as deposits received on universal life, investment-type annuity contracts, Federal Home Loan Bank (FHLB) funding agreements and mutual funds.

Results from discontinued operations are excluded from all of these measures.

#

American International Group, Inc. (AIG) is a leading global insurance organization. AIG member companies provide a wide range of property casualty insurance, life insurance, retirement solutions, and other financial services to customers in more than 80 countries and jurisdictions. These diverse offerings include products and services that help businesses and individuals protect their assets, manage risks and provide for retirement security. AIG common stock is listed on the New York Stock Exchange.

Additional information about AIG can be found at www.aig.com | YouTube: www.youtube.com/aig | Twitter: [@AIGinsurance](https://twitter.com/AIGinsurance) | LinkedIn: www.linkedin.com/company/aig. These references with additional information about AIG have been provided as a convenience, and the information contained on such websites is not incorporated by reference into this press release.

AIG is the marketing name for the worldwide property-casualty, life and retirement, and general insurance operations of American International Group, Inc. For additional information, please visit our website at www.aig.com. All products and services are written or provided by subsidiaries or affiliates of American International Group, Inc. Products or services may not be available in all countries and jurisdictions, and coverage is subject to underwriting requirements and actual policy language. Non-insurance products and services may be provided by independent third parties. Certain property-casualty coverages may be provided by a surplus lines insurer. Surplus lines insurers do not generally participate in state guaranty funds, and insureds are therefore not protected by such funds.

American International Group, Inc.
Selected Financial Data and Non-GAAP Reconciliation
(\$ in millions, except per common share data)

Reconciliations of Adjusted Pre-tax and After-tax Income

	Three Months Ended March 31,							
	2020				2019			
	Pre-tax	Tax Effect	Noncontrolling Interests ^(c)	After-tax	Pre-tax	Tax Effect	Noncontrolling Interests ^(c)	After-tax
Pre-tax income/net income, including noncontrolling interests	\$ 2,558	\$ 904	\$ -	\$ 1,654	\$ 1,154	\$ 217	\$ -	\$ 937
Noncontrolling interests	-	-	95	95	-	-	(283)	(283)
Pre-tax income/net income attributable to AIG	<u>2,558</u>	<u>904</u>	<u>95</u>	<u>1,749</u>	<u>1,154</u>	<u>217</u>	<u>(283)</u>	<u>654</u>
Dividends on preferred stock				7				-
Net income attributable to AIG common shareholders				<u>1,742</u>				<u>654</u>
Adjustments:								
Changes in uncertain tax positions and other tax adjustments	-	(5)	-	5	-	12	-	(12)
Deferred income tax valuation allowance (releases) charges ^(a)	-	(283)	-	283	-	38	-	(38)
Changes in fair value of securities used to hedge guaranteed living benefits	7	2	-	5	(96)	(20)	-	(76)
Changes in benefit reserves and DAC, VOBA and SIA related to net realized capital gains (losses)	538	113	-	425	(99)	(21)	-	(78)
Changes in the fair value of equity securities	191	40	-	151	(79)	(17)	-	(62)
Favorable prior year development and related amortization changes ceded under retroactive reinsurance agreements	(8)	(2)	-	(6)	(27)	(5)	-	(22)
(Gain) loss on extinguishment of debt	17	4	-	13	(2)	(1)	-	(1)
Net realized capital (gains) losses ^(b)	(3,502)	(767)	-	(2,735)	474	109	-	365
(Income) loss from divested businesses	216	45	-	171	(6)	(1)	-	(5)
Non-operating litigation reserves and settlements	(6)	(1)	-	(5)	1	1	-	-
Net loss reserve discount charge	56	12	-	44	473	99	-	374
Integration and transaction costs associated with acquired businesses	2	-	-	2	7	2	-	5
Restructuring and other costs	90	19	-	71	47	10	-	37
Professional fees related to regulatory or accounting changes	13	3	-	10	-	-	-	-
Noncontrolling interests primarily related to net realized capital gains (losses) of Fortitude Holdings' standalone results ^(c)	-	-	(77)	(77)	-	-	247	247
Adjusted pre-tax income/Adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders	<u>\$ 172</u>	<u>\$ 84</u>	<u>\$ 18</u>	<u>\$ 99</u>	<u>\$ 1,847</u>	<u>\$ 423</u>	<u>\$ (36)</u>	<u>\$ 1,388</u>

(a) First quarter 2020 includes valuation allowance established against a portion of foreign tax credit and separate return limitation year net operating loss carryforwards of AIG's U.S. federal consolidated income tax group.

(b) Includes all net realized capital gains and losses except earned income (periodic settlements and changes in settlement accruals) on derivative instruments used for non-qualifying (economic) hedging or for asset replication.

(c) Noncontrolling interests is primarily due to the 19.9 percent investment in Fortitude Group Holdings, LLC (Fortitude Holdings) by an affiliate of The Carlyle Group L.P. (Carlyle), which occurred in the fourth quarter of 2018. Carlyle is allocated 19.9 percent of Fortitude Holdings' standalone financial results. Fortitude Holdings' results are mostly eliminated in AIG's consolidated income from continuing operations given that its results arise from intercompany transactions. Noncontrolling interests is calculated based on the standalone financial results of Fortitude Holdings. The most significant component of Fortitude Holdings' standalone results is the change in fair value of the embedded derivatives which changes with movements in interest rates and credit spreads, and which is recorded in net realized capital gains and losses of Fortitude Holdings. In accordance with AIG's adjusted after-tax income definition, realized capital gains and losses are excluded from noncontrolling interests.

American International Group, Inc.
Selected Financial Data and Non-GAAP Reconciliation (continued)
(\$ in millions, except per common share data)

Summary of Key Financial Metrics

	Three Months Ended March 31,		
	2020	2019	% Inc. (Dec.)
Earnings per common share:			
Basic			
Income from continuing operations	\$ 1.99	\$ 0.75	165.3 %
Income from discontinued operations	-	-	NM
Net income attributable to AIG common shareholders	<u>\$ 1.99</u>	<u>\$ 0.75</u>	165.3
Diluted			
Income from continuing operations	\$ 1.98	\$ 0.75	164.0
Income from discontinued operations	-	-	NM
Net income attributable to AIG common shareholders	<u>\$ 1.98</u>	<u>\$ 0.75</u>	164.0
Adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders per diluted share	\$ 0.11	\$ 1.58	(93.0)%
Weighted average shares outstanding:			
Basic	874.2	875.4	
Diluted	878.9	877.5	

As of period end:	March 31, 2020	December 31, 2019	March 31, 2019
Total AIG shareholders' equity	\$ 60,173	\$ 65,675	\$ 60,787
Less: Preferred equity	485	485	485
Total AIG common shareholders' equity (a)	59,688	65,190	60,302
Less: Accumulated other comprehensive income (AOCI)	(994)	4,982	2,128
Total AIG common shareholders' equity, excluding AOCI (b)	60,682	60,208	58,174
Less: Deferred tax assets (DTA)*	8,535	8,977	9,926
Total adjusted AIG common shareholders' equity (c)	<u>\$ 52,147</u>	<u>\$ 51,231</u>	<u>\$ 48,248</u>
Less: Intangible assets:			
Goodwill	3,989	4,038	4,103
Value of business acquired	297	317	421
Value of distribution channel acquired	526	536	564
Other intangibles	329	333	340
Total intangible assets	<u>5,141</u>	<u>5,224</u>	<u>5,428</u>
Total AIG common shareholders' equity less intangible assets (d)	<u>54,547</u>	<u>59,966</u>	<u>54,874</u>
Total adjusted tangible common shareholders' equity (e)	<u>\$ 47,006</u>	<u>\$ 46,007</u>	<u>\$ 42,820</u>
Total common shares outstanding (f)	861.3	870.0	869.7

As of period end:	March 31, 2020	December 31, 2019	% Inc. (Dec.)	March 31, 2019	% Inc. (Dec.)
Book value per common share (a÷f)	\$ 69.30	\$ 74.93	(7.5)%	\$ 69.33	- %
Book value per common share, excluding AOCI (b÷f)	70.45	69.20	1.8	66.89	5.3
Adjusted book value per common share (c÷f)	60.55	58.89	2.8	55.47	9.2
Tangible book value per common share (d÷f)	63.33	68.93	(8.1)	63.10	0.4
Adjusted tangible book value per common share (e÷f)	54.58	52.88	3.2	49.24	10.8

	Three Months Ended	
	March 31, 2020	March 31, 2019
Actual or Annualized net income attributable to AIG common shareholders (g)	\$ 6,968	\$ 2,616
Actual or Annualized adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders (h)	\$ 396	\$ 5,552
Average AIG common shareholders' equity (i)	\$ 62,439	\$ 58,332
Less: Average intangible assets	5,183	5,439
Average AIG tangible common shareholders' equity (j)	<u>\$ 57,256</u>	<u>\$ 52,893</u>
Average AIG common shareholders' equity	\$ 62,439	\$ 58,332
Less: Average AOCI	1,994	358
Less: Average DTA*	8,756	10,040
Average adjusted common shareholders' equity (k)	<u>51,689</u>	<u>47,934</u>
Less: Average intangible assets	5,183	5,439
Average adjusted tangible common shareholders' equity (m)	<u>\$ 46,506</u>	<u>\$ 42,495</u>
ROCE (g÷i)	11.2 %	4.5 %
Adjusted return on common equity (h÷k)	0.8 %	11.6 %
Return on tangible common equity (g÷j)	12.2 %	4.9 %
Adjusted return on tangible common equity (h÷m)	0.9 %	13.1 %

* Represents deferred tax assets only related to U.S. net operating loss and foreign tax credit carryforwards on a U.S. GAAP basis and excludes other balance sheet deferred tax assets and liabilities.

American International Group, Inc.
Selected Financial Data and Non-GAAP Reconciliation
(\$ in millions, except per common share amounts)

Reconciliations of Life and Retirement Adjusted Return on Common Equity

	Three Months Ended March 31,	
	2020	2019
Adjusted pre-tax income	\$ 574	\$ 924
Interest expense on attributed financial debt	61	37
Adjusted pre-tax income including attributed interest expense	513	887
Income tax expense	99	176
Adjusted after-tax income	414	711
Dividends declared on preferred stock	3	-
Adjusted after-tax income attributable to common shareholders	411	711
Ending adjusted attributed common equity	\$ 19,661	\$ 18,280
Average adjusted attributed common equity	\$ 19,587	\$ 18,988
Adjusted return on attributed common equity	8.4 %	15.0 %

Reconciliations of Core Adjusted Return on Common Equity

	Three Months Ended March 31,	
	2020	2019
Adjusted pre-tax income	\$ 540	\$ 1,735
Interest expense on attributed financial debt	-	-
Adjusted pre-tax income including attributed interest expense	540	1,735
Income tax expense	162	400
Adjusted after-tax income	378	1,335
Dividends declared on preferred stock	7	-
Adjusted after-tax income attributable to common shareholders	371	1,335
Ending adjusted attributed common equity	\$ 44,305	\$ 40,798
Average adjusted attributed common equity	\$ 44,259	\$ 39,767
Adjusted return on attributed common equity	3.4 %	13.4 %

Net Premiums Written - Change in Constant Dollar

	Three Months Ended March 31, 2020
General Insurance - International	
Foreign exchange effect on worldwide premiums:	
Change in net premiums written	
Increase (decrease) in original currency	(8.3)%
Foreign exchange effect	(0.5)
Increase (decrease) as reported in U.S. dollars	(8.8)%

Reconciliation of Net Investment Income

	Three Months Ended March 31,	
	2020	2019
Net investment income per Consolidated Statements of Operations	\$ 2,508	\$ 3,879
Changes in fair value of securities used to hedge guaranteed living benefits	(13)	(105)
Changes in the fair value of equity securities	191	(79)
Net realized capital gains related to economic hedges and other	13	23
Total Net investment income - APTI Basis	\$ 2,699	\$ 3,718

American International Group, Inc.
Selected Financial Data and Non-GAAP Reconciliation (continued)
(\$ in millions, except per common share amounts)

Reconciliations of Premiums and Deposits

	Three Months Ended March 31,	
	2020	2019
<u>Individual Retirement:</u>		
Premiums	\$ 41	\$ 11
Deposits	3,078	4,175
Other	(3)	-
Total premiums and deposits	\$ 3,116	\$ 4,186
<u>Group Retirement:</u>		
Premiums	\$ 6	\$ 4
Deposits	1,849	2,059
Other	-	-
Total premiums and deposits	\$ 1,855	\$ 2,063
<u>Life Insurance:</u>		
Premiums	\$ 419	\$ 395
Deposits	402	406
Other	194	194
Total premiums and deposits	\$ 1,015	\$ 995
<u>Institutional Markets:</u>		
Premiums	\$ 757	\$ 819
Deposits	152	286
Other	8	7
Total premiums and deposits	\$ 917	\$ 1,112
<u>Total Life and Retirement:</u>		
Premiums	\$ 1,223	\$ 1,229
Deposits	5,481	6,926
Other	199	201
Total premiums and deposits	\$ 6,903	\$ 8,356